

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco トラップを追加するには](#)

[トラップを追加または変更するには](#)

[例](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、NetView および HP OpenView でトラップを追加および変更する方法の詳細と例を示します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- HP OpenView 4.1 以降
- IBM NetView 5.1 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco トラップを追加するには

一般的なネットワーク管理システム（NMS）アプリケーションの最新バージョンでは、MIB をロードすると、イベント管理部分にトラップがロードされます（「[MIB コンパイラと MIB のロード](#)」を参照）。これは非常に簡単な方法ですが、次の手順に従って、トラップだけを NMS に直接ロードすることもできます。

1. [CiscoView Planner](#) ([登録ユーザ専用](#)) から最新の Cisco Network Management Integration Data Bundle (NMIDB) をダウンロードします。
2. アーカイブの /traps ディレクトリに存在する、trapd.41x Cisco トラップの定義ファイルを取得します。このファイルには、HP OpenView と IBM NetView のトラップ定義が含まれています。
3. trapd.41x ファイルを既存の trapd.conf ファイルにマージします。これを HP OpenView で実行するには、**xnmevents** コマンドを使用します。これを IBM NetView で実行するには、**nvaddtrapdconf** コマンドを使用します。製品は変更される場合があるため、詳細については HP または IBM のマニュアルを参照してください。

トラップを追加または変更するには

HP OpenView と IBM NetView のどちらの場合も、次のいずれかの方法で GUI にアクセスして、トラップを追加または変更できます。

- コマンドラインに **xnmtrap** と入力します。
- メニューから [Options] > [Event customization] > [Trap customization: SNMP] を選択します。

例

この例では GUI を使用して、CISCO-ISDN-MIB_V1SMI.my に **demandNbrCallInformation** トラップを追加します。

GUI を始動し、上部で企業名を探します。この例では、名前は cisco-isdn です。次に以下の手順を実行します。

1. 目的の企業がない場合は、[Add] を選択します。
2. [Enterprise Name] フィールドと [Enterprise ID] フィールドに、関連する詳細を入力します。この例では、cisco-isdn が企業名で 1.3.6.1.4.1.9.9.26.2 がエンタープライズ ID です。
3. 終了したら [Add] をクリックします。
4. 上部の企業名を強調表示します (この例では cisco-isdn)。
5. トラップ名が下部にない場合は、[Add] をクリックしてフィールドに入力します。この例では、次のとおりです。イベント名は demandNbrCallInformation です。トラップは企業固有です。固有のトラップ番号は 1 です。この説明は MIB によるものです。[Event Source] フィールドは空白のままにします。[Event Category]、[Status]、および [Severity] フィールドは設定可能です (これらのフィールドの説明を見るには、[Help] をクリックするか、HP OpenView または IBM NetView のマニュアルを参照してください)。[Event Log Message] フィールドは設定可能ですが、この例の情報は次のように入力できません。[Popup Notification] および [Command for Automatic Action] フィールドはオプションです。これらについては、HP OpenView または IBM NetView のマニュアルで説明されています。
6. 終了したら [Add] をクリックします。

関連情報

- [MIB コンパイラと MIB のロード](#)
- [ネットワーク管理製品のサポート](#)

- [ネットワーク管理テクノロジーのサポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)